

岩手県感染症週報

平成26年第35週(8月25日～8月31日)

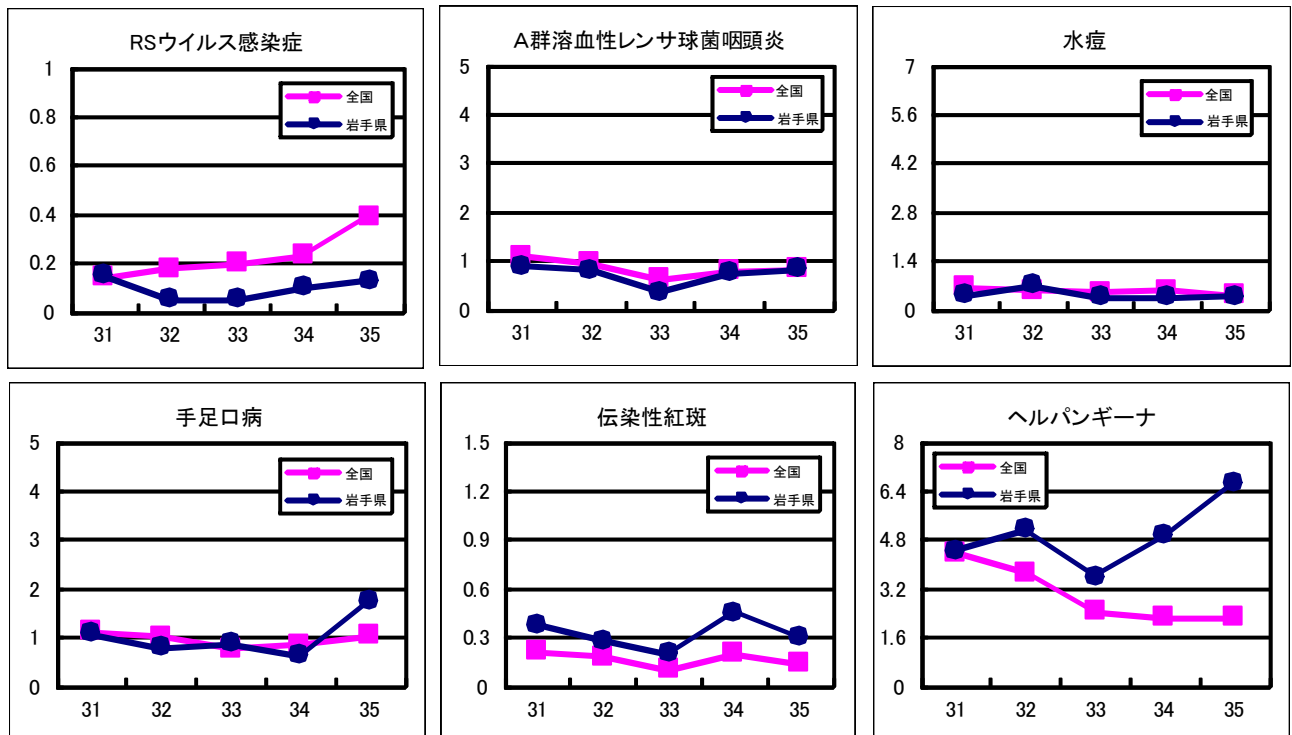
岩手県感染症情報センター

第35週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症（O157など）は、奥州地区から3例、盛岡市、久慈、二戸地区から各1例ずつの計6例の報告があり、今年の累積報告数は88例となりました。食肉の十分な加熱などによる食中毒の予防と、手洗いなどによる二次感染の予防が重要です。また、腹痛、下痢（血便）等の症状がある場合には早めの受診が勧められます。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・アメーバ赤痢の患者の報告が、大船渡地区より1例ありました。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・ヘルパンギーナは、前週よりさらに増加し、県全体で警報値（定点あたり患者数6人）を超えました。中部地区では5週連続して警報値を超えています。例年7月から9月の中旬まで報告数の多い状況が続きますが、この週は過去10年間で最も多い報告数となっており、今後の発生の動向に注意が必要です。これまでの患者の年齢別では、1、2歳に多く、55%を占めています。保育園等、乳幼児が集団生活を営む場では、感染者との接触を避けることやうがいや手洗いの励行が勧められます。
 - ・手足口病は、中部地区で警報値（定点あたり患者数5人）を超えたほか、奥州地区で多くなっています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		31	32	33	34	35		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0.02	0.05	0.02	0.02	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03		
RSウイルス感染症	岩手県	0.15	0.05	0.05	0.1	0.13	→	☆
	全国	0.14	0.18	0.2	0.23	0.39		
咽頭結膜熱	岩手県	0.3	0.35	0.08	0.1	0.05	→	
	全国	0.6	0.55	0.4	0.46	0.41		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.9	0.8	0.35	0.75	0.83	→	☆
	全国	1.09	0.95	0.62	0.78	0.83		
感染性胃腸炎	岩手県	2.98	3.43	2.13	3.75	3.2	→	☆
	全国	3.41	3.26	2.43	3.22	3.28		
水痘	岩手県	0.43	0.7	0.35	0.35	0.4	→	☆
	全国	0.64	0.57	0.49	0.56	0.42		
手足口病	岩手県	1.08	0.78	0.88	0.63	1.75	↗	☆☆
	全国	1.12	1.01	0.77	0.86	1.03		
伝染性紅斑	岩手県	0.38	0.28	0.2	0.45	0.3	→	☆
	全国	0.21	0.18	0.1	0.2	0.14		
突発性発疹	岩手県	0.6	0.73	0.45	0.5	0.55	→	☆
	全国	0.62	0.63	0.46	0.63	0.64		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	4.45	5.13	3.58	4.93	6.68	↗	☆☆☆
	全国	4.39	3.72	2.43	2.25	2.25		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.1	0.2	0.15	0.2	0.2	→	☆
	全国	0.34	0.33	0.27	0.33	0.3		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.01	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.14	0.36	0.14	0.29	→	☆
	全国	0.69	0.77	0.48	0.89	0.74		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.01	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.37	0.42	0.37	0.58	0.84	→	☆
	全国	0.24	0.24	0.25	0.22	0.24		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.00	0.01		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	1	0	1	1	0		
	全国	4	1	5	9	1		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。 (患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		31	32	33	34	35	累計	35	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	5 (2)	6 (4)	4 (1)	8 (4)	0	190 (77)	421	17111
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	2	68
	腸管出血性大腸菌感染症	20	6	9	8	6	88	145	2958
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	24
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	12
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	3	0	100
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	3	392
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	14
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	7
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	44
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	8
	つつが虫病	0	0	0	0	0	3	1	112
	デング熱	0	0	0	0	0	0	30	134
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3	108
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	9
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	37
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	4	29	784
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	2	13	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※中東呼吸器症候群 (MERS) が2014年第31週より指定感染症として報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		31	32	33	34	35		35	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	11	18	743
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	167
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	7	324
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	1	1	82
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	4	119
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	181
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	21	999
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	41
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	132
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	25
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	6	5	1228
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	8
	梅毒	0	0	0	0	0	2	29	1091
	破傷風	0	0	0	0	0	4	2	87
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	34
	風しん	0	0	0	0	0	1	1	268
	麻しん	0	0	0	0	0	0	4	436
指定	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした、乳幼児を中心に夏に流行する急性ウイルス性感染症です。いわゆる夏かぜの代表的疾患です。今シーズンの岩手県での発生状況ですが、第33週には減少しましたが、第34週には再度増加し、第35週は警報値 (定点あたり患者数6人) を超えました (表1)。

病因となるウイルスは主にコクサッキーウイルスA群 (CA) 2、3、4、5、6、10型です。今シーズンの患者からの検出状況は、全国ではCA4が多く検出されており、岩手県ではCA4が検出されています。

ヘルパンギーナ 岩手県 2009-2014.35週

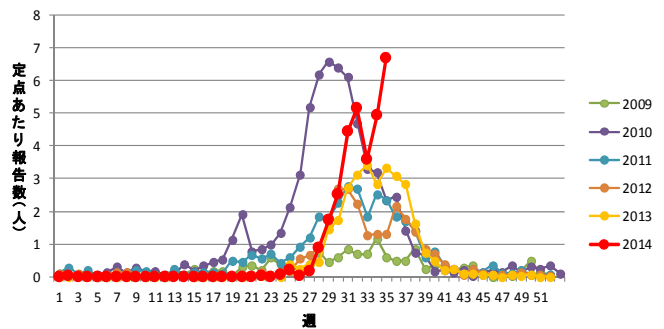
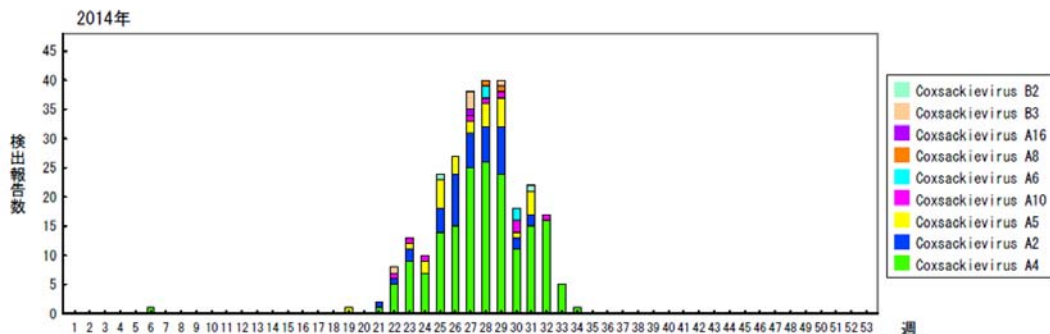


表1 ヘルパンギーナ週別報告数 岩手県 2009-2014

*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別 ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告数 (全国)

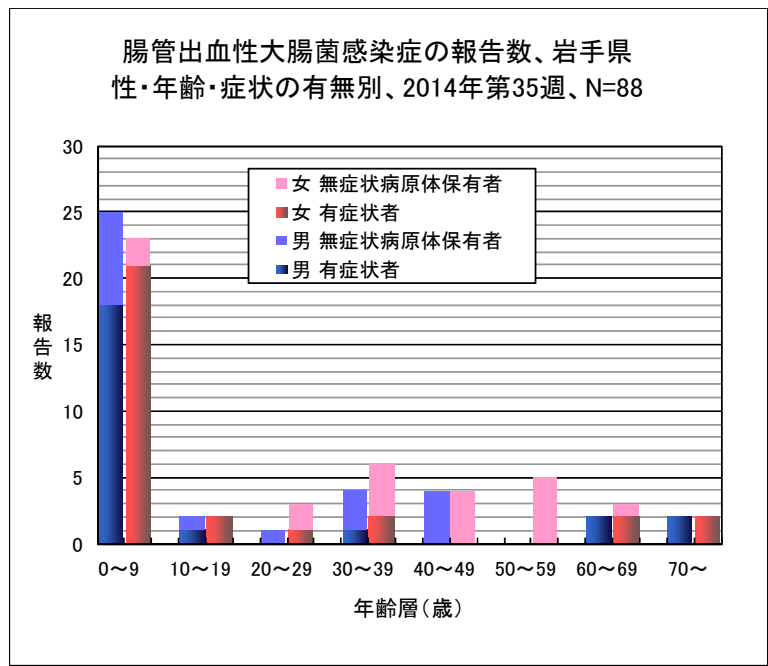
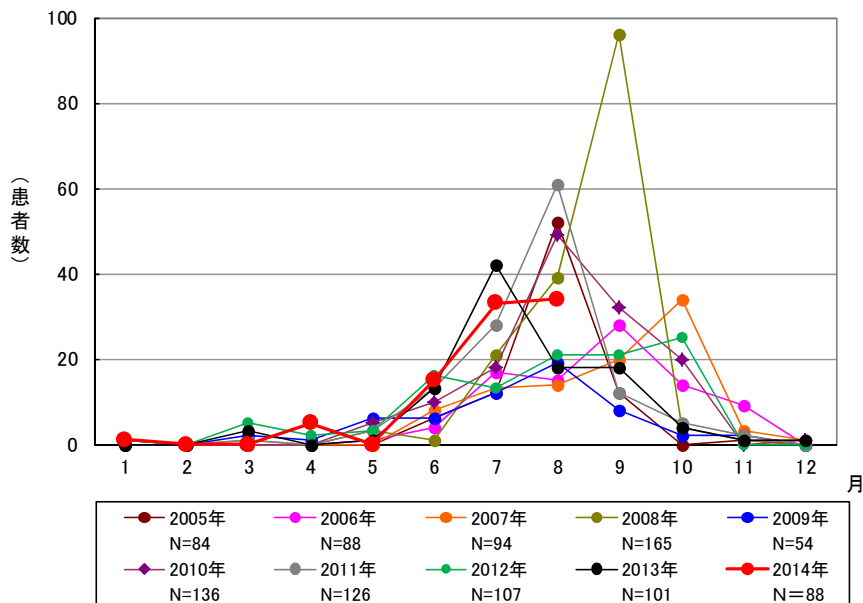
今注目の感染症 (つづき)

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第34週までに82例の患者さんが報告されています。原因となった大腸菌は、O157が15例、O26が60例、O103が8例、O145が3例、その他が2例となっています。年齢層別では、0～9歳が48名、30～39歳が9名、40～49歳が7名の順に多くなっています。

予防には、食中毒予防の基本を守り、生レバーや加熱不十分な食肉等を食べないことが重要です。また、ヒトからヒトへの二次感染を予防するため、排便後・食事前の石けんと流水を用いた手洗いの励行も重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
(岩手県2005年～2014年)



病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

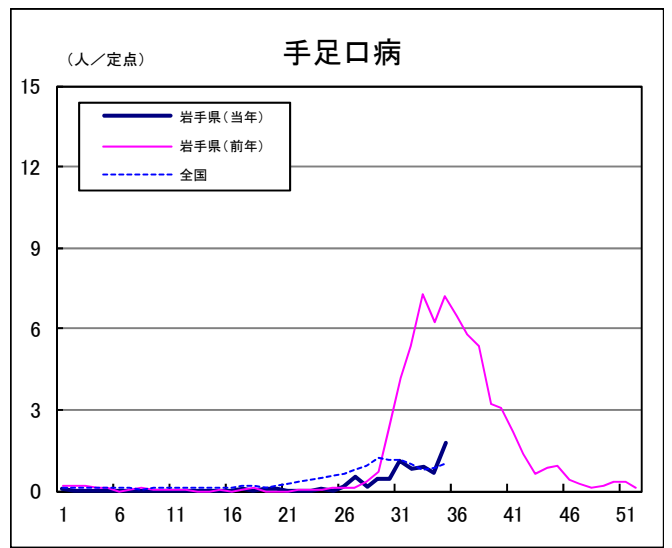
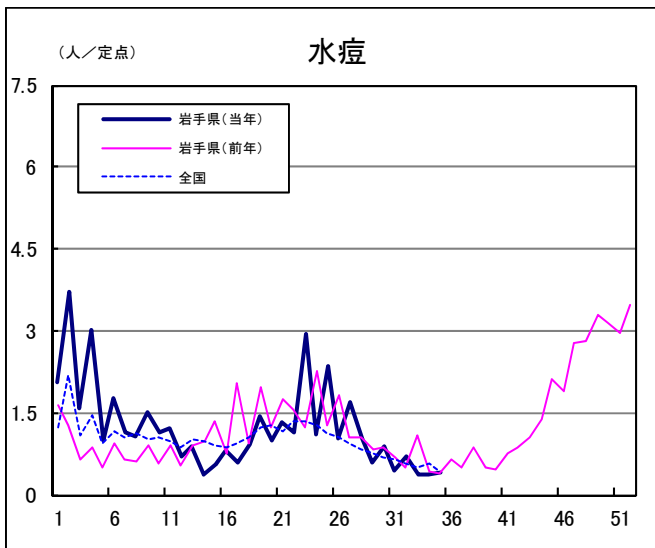
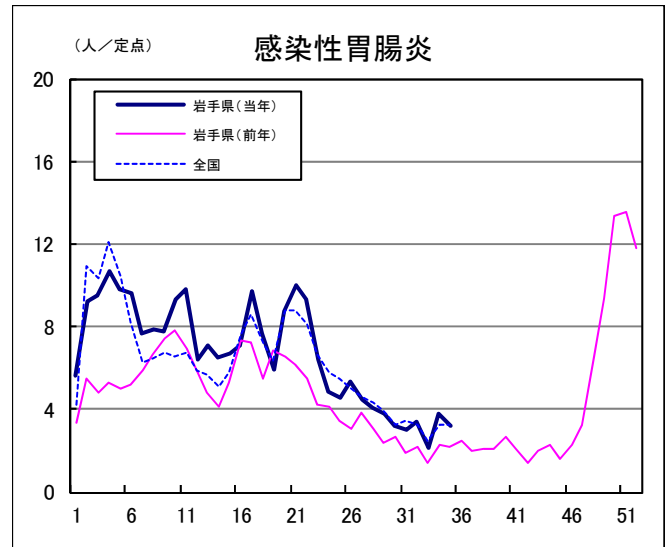
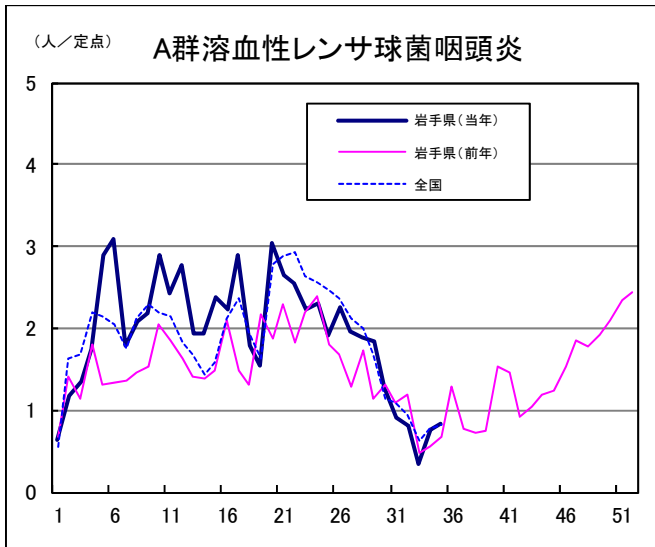
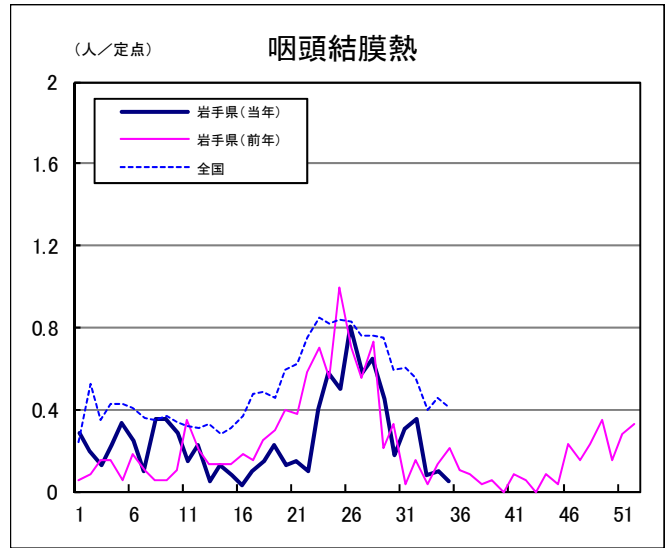
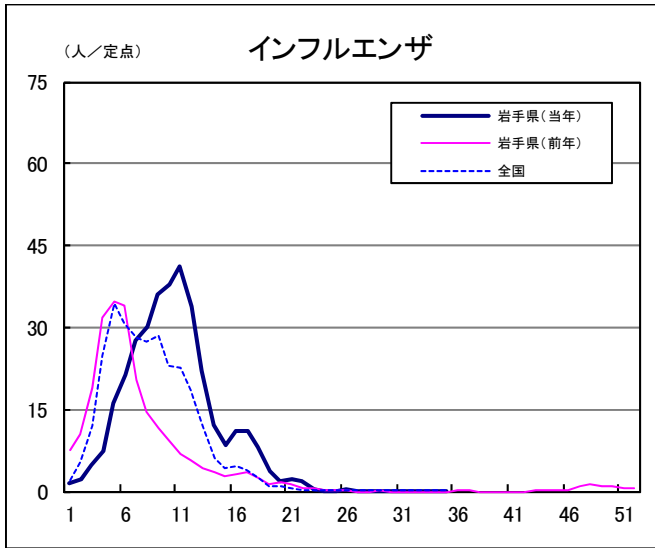
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

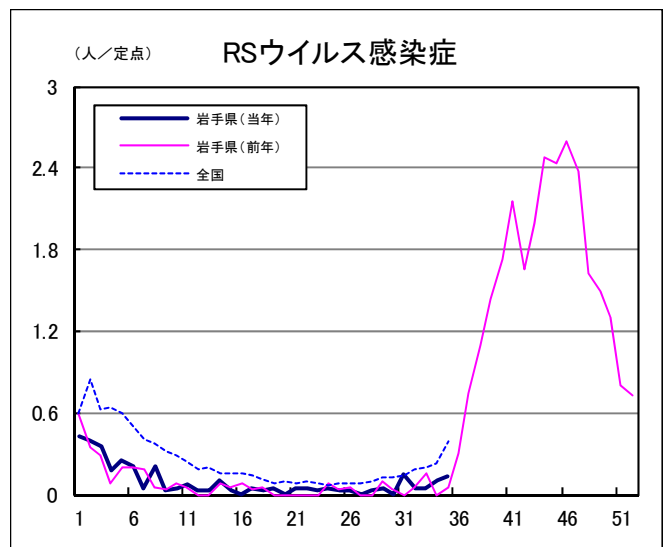
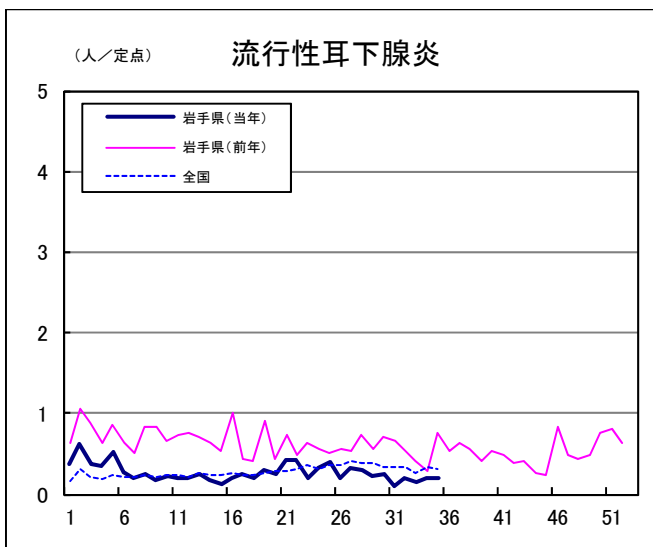
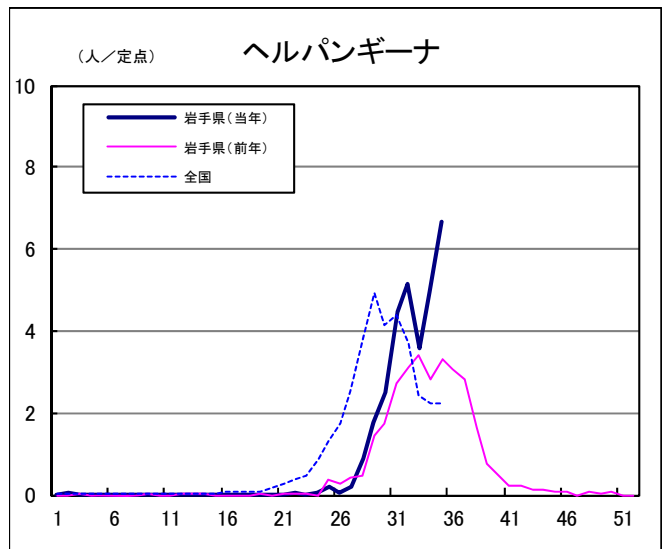
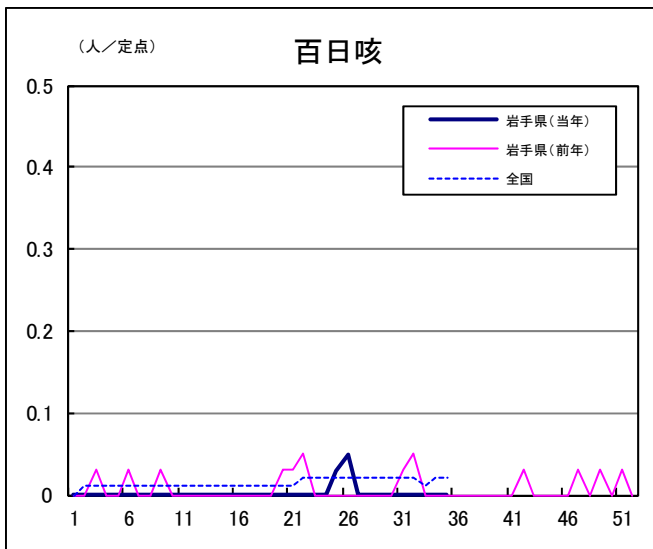
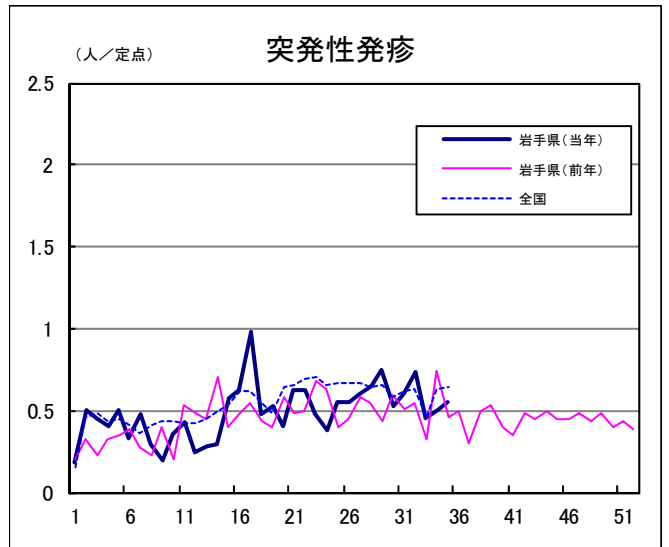
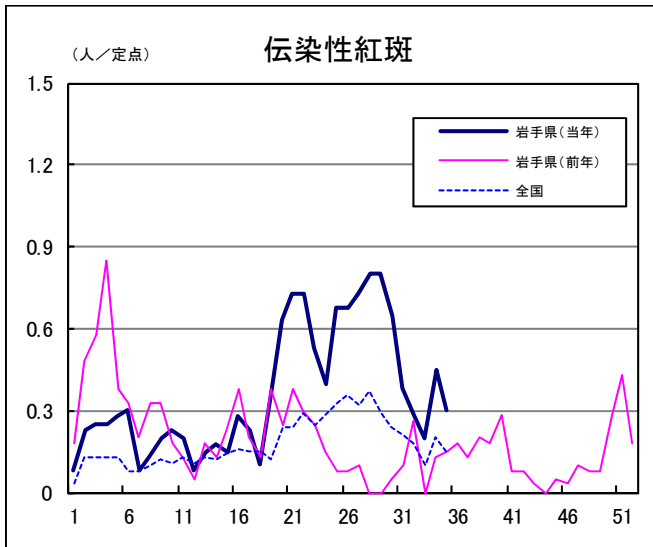
Q & A

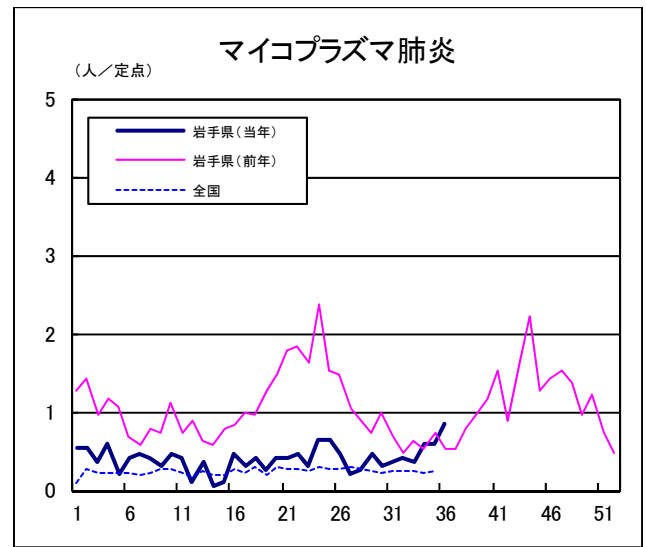
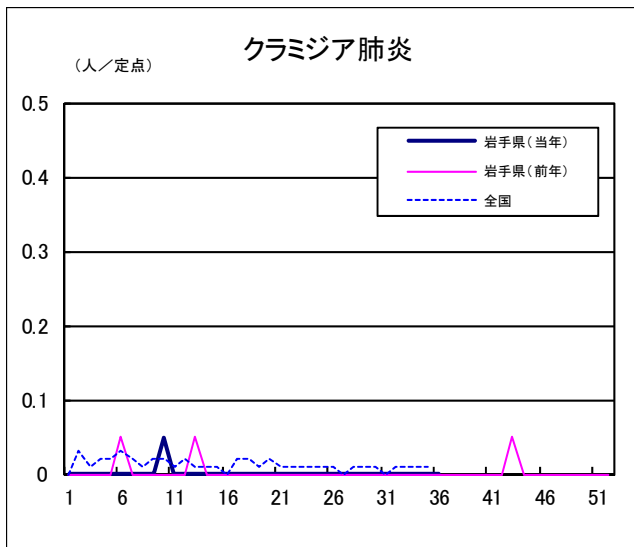
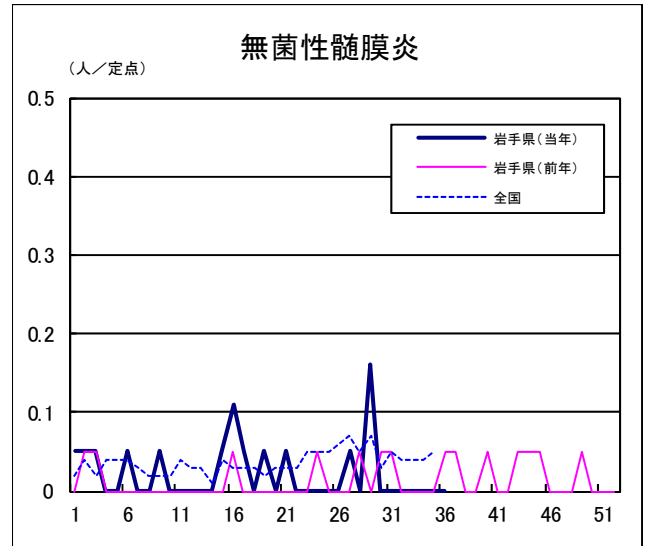
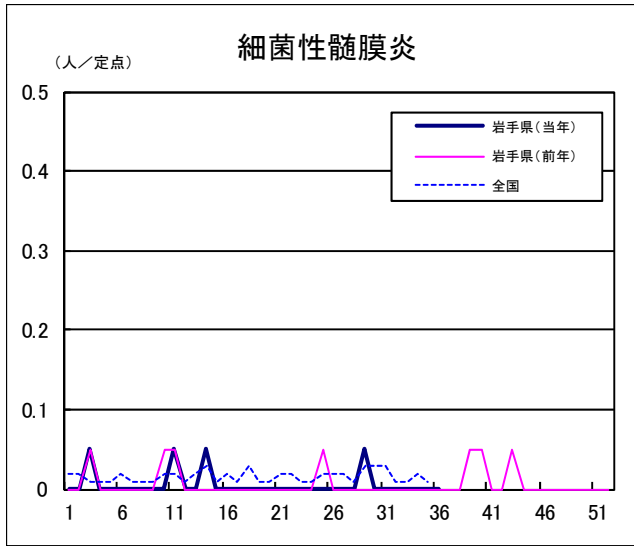
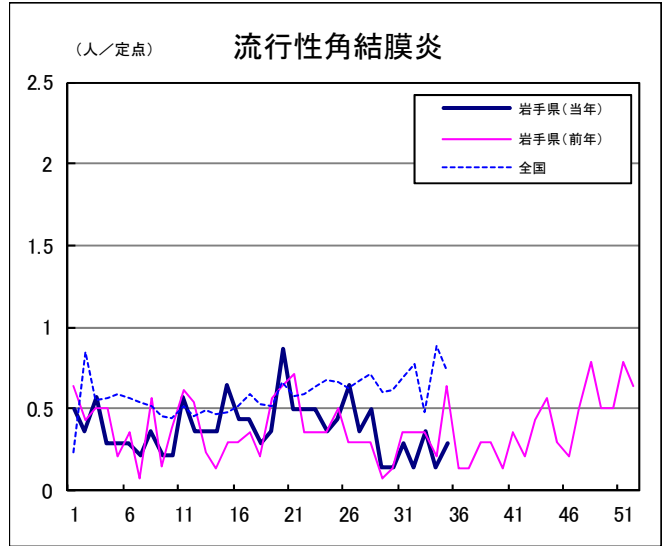
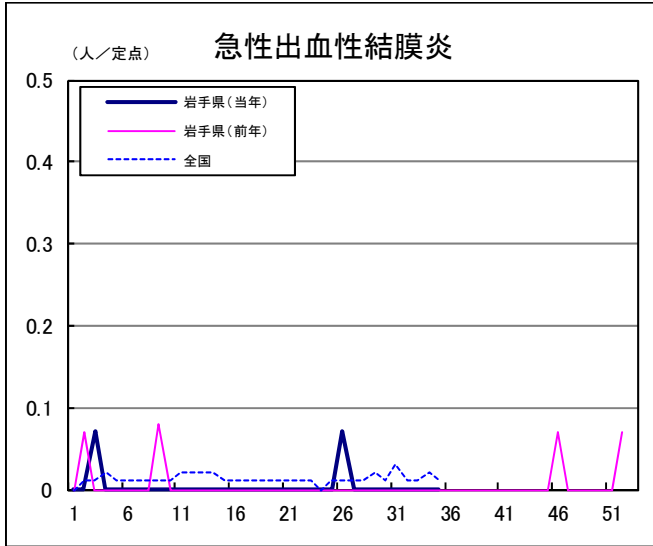
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref. iwate. jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第35週 平成26年9月5日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>